

# 駐車マナー守って

## 海陽・大手海岸沿い「道の駅」

大手海岸沿いの道の駅「穴喰温泉」(海陽町久保)の駐車場の利用をめくり、一部サーファーのマナーの悪さが問題になっている。サーフィンスポットに近いため長時間駐車などが相次いでおり、休日に休憩に立ち寄る利用者の妨げとなるケースもある。施設を管理運営する町は看板設置や警備員配置などで適正利用を呼び掛けているが、効果は上がらず、対応に困っている。

# 一部サーファー長時間占拠

長時間駐車など一部のサーファーのマナーの悪さが問題となっている道の駅「穴喰温泉駐車場」海陽町



道の駅は1997年にオープン。レストランや土産物売り場が入る観光ターミナルとトイレなどがあり、東側には国道を挟んで延長約1.5kmの大手海岸が広がる。週末や大型連休などには、食事や海の景色を楽しむ家族連れらでにぎわう観光拠点になっている。

町によると、道の駅駐車場の利用目的はトイレ休憩や施設利用などに限っており、目的外の長時間駐車を認めていない。オープン当初からサーフィンに適した波が立つ日には県内外の愛好家が駐車場(29台)を早朝から利用し、半日以上止めることもある。このため

## 看板や警備員 注意喚起効果なく

駐車スペースがなく走り抜ける車もあり、レストランや土産物の売り上げにも影響が出ているという。

サーファークループの中には、数人で椅子やテーブルを並べて食事や仮眠を取ったり、着替えや水浴びをしたりする人もいる。町は以前から看板で近くの有料駐車場の利用を促しているほか、2010年からは大型連休に警備員を配置してマナーの悪いサーファーには口頭で注意するようにした。しかし強制力がないため効果は一時的で問題解決には至っていない。

道の駅駅長で町産業観光課の歌邦夫課長は「全てのサーファーが悪いわけではないので一概に締め出すこともできない。地道に適正利用を促していくしかない」と話している。(南志郎)